

# 定例会の概要

平成27年第2回定例会は、6月3日から26日までの24日間開催されました。  
今議会では、各種専決処分事件や補正予算、条例の制定・改正などの議案審議及び12人の議員による一般質問が行われました。

## 平成26年度 雲仙市一般会計繰越明許費繰越計算書について

### 8億3千9百万円余の事業を27年度へ繰越

款区分	件数	繰越額(千円)
議会費	1	700
総務費	5	109,257
民生費	2	295,119
労働費	1	40,000
農林水産業費	9	151,744
商工費	5	163,075
土木費	8	64,202
災害復旧費	1	15,226
合計	32	839,323

#### 主な事業

- ・庁舎整備事業…………… 87,049千円
- ・地方創生総合戦略策定事業…………… 10,258千円
- ・保育施設整備事業…………… 287,403千円
- ・魅力ある職場づくり支援事業…………… 40,000千円
- ・吾妻山田原第2地区農地整備事業 21,600千円
- ・小浜木指漁港海岸高潮対策事業… 52,740千円
- ・プレミアム商品券発行事業…………… 76,169千円
- ・誘客拡大支援事業…………… 49,876千円
- ・河川単独補修事業…………… 19,000千円
- ・大規模建築物耐震化事業…………… 20,581千円



増築中の本庁庁舎

# 平成27年 第2回

## 平成27年度 雲仙市一般会計補正予算(第1号)について

### ◇防災・安全社会資本整備交付金事業 **1,248万円**

①事業費内容：橋梁の定期点検

②補正の主な内容：

点検橋梁数 60橋



橋梁点検中

### ◇コミュニティ助成事業 **1,180万円**

【片田自治会：国見町】

①事業費：2,114万円（うち助成金1,180万円）

②事業内容：片田地区コミュニティセンター整備



片田自治会公民館現況

# 雲仙市税条例の一部を改正する条例について

## 〔主要な改正内容〕

### 消費税率10%への引き上げ時期の変更等

#### ○住宅ローン減税の延長

個人住民税における住宅ローン減税の拡充等の措置について、対象期間を平成31年6月30日まで1年半延長。この措置による個人住民税の減収額は、全額国費で補填。

### ふるさと納税

#### ○特例控除額の拡充

個人住民税のふるさと納税に係る特例控除額の上限を所得割額の1割から2割に拡充。

#### ○申告手続の簡素化

確定申告が不要な給与所得者等がふるさと納税を行う場合に、確定申告をせずにワンストップで寄附金税額控除を受けられる特例を創設。

### 固定資産税等

#### ○固定資産税等（土地）の負担調整措置

現行の仕組みを3年延長。

※これに伴い、固有資産等所在市町村交付金について所要の措置。

## 賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	渡 辺 勝 美	中 村 好 治	佐 藤 義 隆	林 田 哲 幸	坂 本 弘 樹	酒 井 恭 二	平 野 利 和	浦 川 康 二	大 久 保 信 一	深 堀 善 彰	上 田 篤 篤	町 田 康 則	松 尾 文 昭	森 山 繁 一	前 川 治	小 畑 吉 時	元 村 康 一	井 上 武 久	小 田 孝 明	町 田 誠
雲仙市税条例の一部を改正する条例	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

# 意見書を国へ送付しました



## 合併特例債の適用期間の再延長を求める意見書

合併特例債は、合併市町村における地域の「一体性の確保」及び「均衡ある発展」のため、市町村建設計画に基づく建設事業への財源措置として「合併年度及びこれに続く10カ年」を限度として発行できることで創設されました。

その後、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の教訓から、多くの合併市町村で各種建設事業計画の見直しが行われ、特例債発行期間内の事業完了が困難であることから、東日本大震災の被災地を除く合併市町村に対して、合併特例債発行期間の5年間延長がなされておるところです。

しかしながら「アベノミクス効果」による建設需要の増大や東日本大震災の復興促進、2020年の東京オリンピック・パラリンピック決定に伴う関連施設整備などにより建設資材の高騰や技術者の不足がみられ、全国の自治体で入札不調が急増し、建設事業年度の延長を余儀なくされる合併市町村が続出することが懸念されます。

こうしたことから、合併基盤整備事業を円滑かつ計画的に実施するため、政府におかれましては、被災市町村以外の合併特例債の発行期限を東日本大震災で被災した合併市町村と同様の期間となるよう延長されることを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月26日

長崎県雲仙市議会

衆議院議長 大島 理森 殿  
参議院議長 山崎 正昭 殿  
内閣総理大臣 安倍 晋三 殿  
総務大臣 高市 早苗 殿  
財務大臣 麻生 太郎 殿

### ※合併特例債の再延長意見内容

被災地	
他市町村	

# 平成27年 第2回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第28号	専決処分した事件の承認について（雲仙市税条例等の一部を改正する条例）	承認
議案 第29号	専決処分した事件の承認について（平成26年度雲仙市一般会計補正予算（第9号））	承認
議案 第30号	専決処分した事件の承認について（平成26年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第2号））	承認
議案 第31号	専決処分した事件の承認について（平成26年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））	承認
議案 第32号	専決処分した事件の承認について（平成26年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号））	承認
議案 第33号	専決処分した事件の承認について（平成26年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第4号））	承認
議案 第34号	専決処分した事件の承認について（平成26年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第3号））	承認
議案 第35号	専決処分した事件の承認について（平成26年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第2号））	承認
議案 第36号	雲仙市議会の議決すべき事件に関する条例の制定について	原案可決
議案 第37号	雲仙市総合計画審議会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第38号	雲仙市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第39号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第40号	雲仙市社会教育委員条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第41号	平成27年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第42号	平成27年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第43号	平成27年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第44号	平成27年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第45号	平成27年度雲仙市水道事業会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第46号	動産の買入れについて	原案可決
発議 第3号	合併特例債の適用期間の再延長を求める意見書について	原案可決

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認 (税条例等の一部を改正する条例) ほか1件	承認
議会の議決すべき事件に関する条例の制定 ほか2件	原案可決
平成27年度一般会計補正予算(第1号)案	原案可決
合併特例債の適用期間の再延長を求める意見書	決議

本委員会に付託された左記の案件について、承認2件、原案可決4件、意見書1件を決議しました。  
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認(平成26年度一般会計補正予算(第9号))

**質疑** 吾妻町での火災を教訓として、防火水槽や消火栓の充足状況を、市が率先して、総合支所と連携をはかり、全体的な確認や点検をする必要があるのではないか。

**答弁** 全体的な点検をしたい。

**質疑** 防火水槽の代替として、河川等をせき止め、常時水利を確保できれば、費用もかからない。どう考えるのか。

**答弁** 通常、土のうを用い河川をせき止め、消火活動をしている。防火水槽等の点検の際に、河川も点検したい。

**質疑** 本市は合併特例債の再延長を要望しているのか。

**答弁** 今後、国や県に要望していきたい。

**意見** 情報ネットワーク費の光ファイバー整備については、将来的にレンタルによる導入がよいと思われる。収支を比較できるようにしておいてもらいたい。

議会の議決すべき事件に関する条例の制定

**質疑** 議決すべき事件が追加されるのか。

**答弁** 総合計画等が議決事項となる。

総合計画審議会条例の一部を改正する条例

**意見** 地方創生に乗り遅れないよう、スピード感を持って対応してもらいたい。

合併特例債の適用期間の再延長を求める意見書

**意見** 合併基盤整備事業を円滑かつ計画的に実施するため、東日本大震災で被災した合併市町村と同様の期間となるよう、更なる延長を求めるため、本市議会独自として、意見書を提出することを全会一致で決定しました。

(意見書の文面については

5ページに掲載)

6月11日、雲仙市で初めて出された避難勧告及び被害状況

**意見**

- ・避難勧告を出す以上は気象庁などさまざまな情報を得ながら、慎重に検討を重ねて出してもらいたい。
- ・本市は広範囲であるため、旧町単位での勧告を検討してもらいたい。
- ・市内全域に勧告を出すのであれば、避難所は収容人数などそれ相応の場所に設置すべきである。また、道路状況などを勘案しても、各町に1箇所だけでなく状況に応じた開設でもよいのではないか。
- ・市民から議員への問い合わせも多いので、早急にまた逐一状況を報告してもらいたい。
- ・今回の反省点を今後の危機管理に生かしてもらいたい。

総

務



審査状況



多比良港埋立地(国見町)

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認 (平成26年度一般会計補正予算(第9号)) ほか3件	承認
平成27年度一般会計補正予算(第1号)案	原案可決
動産の買入れ ほか2件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認4件、原案可決4件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認(平成26年度一般会計補正予算(第9号))

**質疑** 埋蔵文化財発掘調査事業において、調査深度が浅く出来たためとの説明があったが、どういうことか。

**答弁** 当初の平均深度を0.7メートルで計画していたが、実績では平均深度が0.4メートルで済んだためである。

専決処分した事件の承認(平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号))

**質疑** 特定健康診査等事業において、予算を減額した理由は何か。また、例年と比べて受診率はどうか。また、例年と比べて受診率はどうか。

**答弁** 当初、特定検診の受診率を50%で見込んでいたが、実績では40%程度だったための減額であり、受診率は、平成25年度並であった。

平成27年度一般会計補正予算(第1号)案

**質疑** 実践的安全教育総合支援事業について、今後の計画はどうなっているか。

## 文教厚生

**答弁** この指定を受けたことにより、来年1月末に県下全域の学校を対象とした研究発表大会を開催する。また、その成果を基に、2月末に東京で開催される全国の実践発表大会に参加して、各地域での取り組みを市内の学校に役立てる予定である。

**質疑** 土黒小学校図書整備事業について、この寄付金は図書の購入に充ててほしいとの要望があつていたのか。

**答弁** この寄付金は、土黒小学校の教員として長年勤められた方(故人)のご意思に基づきなされたものであり、土黒小学校の子どもたちのために、図書等を購入し、故人の名前を付けるなどして活用してほしいとの要望があつた。

### 動産の買入れ

市内の学校施設の、パソコン等の機器を更新のため新しく購入し、情報通信技術教育の充実を図るもの。

**質疑** パソコンはどんどん進化しているので、タブレット等の

最新のものを導入した方がいいのではないか。

**答弁** タブレットを使用する場合には、無線通信を使用することになり、市の運用では無線通信を行うことは認めていない。学校でタブレットを使用する場合には、使用する学校だけでネットワークを構築する必要があり、別途サーバーやネットワークアンテナ等を設置し、セキュリティの問題等様々な環境整備が必要となる。

以上のことから、費用対効果等も考えながら、今後検討していきたい。

**意見** 更新が遅くなる学校については、前倒ししてでも早く機器の更新を行ってほしい。

**答弁** 可能な限り前倒ししていきたい。



審査状況

# 常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
専決処分した事件の承認 (平成26年度一般会計補正予算 (第9号)) ほか3件	承 認
平成27年度一般会計補正予算 (第1号) 案 ほか4件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認4件、原案可決5件と決定しました。主な内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認 (平成26年度一般会計補正予算 (第9号))

**質疑** 農地保全事業の減額分を決定から外れたところへまわすことはできないのか。

**答弁** 年度初めに予算の全額を決定する。今回は年度末までに地元受益者が施工できなかったことと、決定後に圃場整備の計画が持ち上がり、年度内完成が困難になったため、結果的にこのようなかたちとなった。通常は年末にかけて進捗状況を把握し、執行が困難と判断した場合は取消しをして、別の地区に割り当てる措置をとっている。今後も精査を早めに行い、そのような対応をとりたい。

**意見** イノシシをより多く捕獲するため、箱わなの数をもっと増やしてもらいたい。また、山間部だけではなく、町中へ出没している話も聞く。猟友会とよく協議し、被害が出ないような対策をとってもらいたい。

**意見** 商店街活性化推進事業はほとんどの予算が減額されている。市の財政状況も裕福であるとは言えない。もっと予算要求

段階から精査をしてもらいたい。

専決処分した事件の承認 (平成26年度国民宿舎事業特別会計補正予算 (第3号))

**質疑** 今回諸事情 (休業) により影響が出ているが、財源的な補填はしないのか。

**答弁** 安易に財政調整基金を使うのではなく、収入増をはかり基本的には本会計で対応したいと考えている。

## 現地調査を実施

6月11日の大雨による被害状況を把握するため、5箇所現地調査を実施した。

法面の崩壊による道路の通行止めなど、市民の生活に支障をきたしているところがあることを改めて実感した。

出来得る限り早期の復旧ができるような対応を望む。

## 産業建設



審査状況



雲仙地区被災箇所

# 市政を問う

## 12名の議員が一般質問



町田 康則…P10  
平野 利和…P11  
町田 誠…P11  
中村 好治…P12

松尾 文昭…P12  
坂本 弘樹…P13  
酒井 恭二…P13  
佐藤 義隆…P14

上田 篤…P14  
元村 康一…P15  
小田 孝明…P15  
浦川 康二…P16

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

## 消滅都市の中に雲仙も

**金澤市長** 即効性のある対策はないと考えており、子育て・住環境・生活社会環境の整備等幅広い対策が必要だ。

**町田議員** いろいろやっていると言っているのに、人口減少対策の効果が出てこない。波佐見町の最大一世帯85万円を交付する定住奨励金交付制度

**町田議員** 日本創成会議は、「地方消滅」の本の中で、人口急減により全国896の市町村が消えると提言し、雲仙市も30年後には3万人を割る予測。これを改善するには、結婚・出産・子育て・定住への支援が必要としている。本市が取組んできた事業の効果は。

### 市の消滅都市への対策は



まちだ やすのり  
町田 康則 議員

**町田議員** いろいろな施策が出てこない。波佐見町の最大一世帯85万円を交付する定住奨励金交付制度

**松尾部長** 試算の結果、1500万円の減収に。

**町田議員** 平成14年宮崎県内温泉浴施設で起こったレジオネラ肺炎では、死者7人が出る大惨事となり営業停止期間は450日間であった。一旦事態が起こると、働いている人も大変なことになるので、徹底した清掃を。

**町田議員** 日本創成会議は、「地方消滅」の本の中で、人口急減により全国896の市町村が消えると提言し、雲仙市も30年後には3万人を割る予測。これを改善するには、結婚・出産・子育て・定住への支援が必要としている。本市が取組んできた事業の効果は。

**望洋荘のレジオネラ対策は**

**町田議員** 望洋荘に入浴された方がレジオネラ肺炎と診断され、県南保健所が採水検査をしたと聞いたが結果は。

**松尾産業振興部長** 25ヶ所検水し、レジオネラ菌が17ヶ所検出された。循環型だった部分は廃止する。

**町田議員** 今回の損害額は。

**松尾部長** 試算の結果、1500万円の減収に。

**町田議員** 平成14年宮崎県内温泉浴施設で起こったレジオネラ肺炎では、死者7人が出る大惨事となり営業停止期間は450日間であった。一旦事態が起こると、働いている人も大変なことになるので、徹底した清掃を。

は、転入利用43世帯で、128人が他自治体から移住。町は成果があったとして延長を決定した。定住住宅制度は地道であるが、いちばん人口減少を止める対策だと思う。市も考えるべきでは。

# みずほ温泉 千年の湯



ひらの 平野 としかず 利和 議員

**みずほ温泉 「千年の湯」  
運営は**

**平野議員** みずほ温泉千年の湯の運営について、3月議会の文教厚生委員会での議論の中で「今後ポンプが故障した場合には、ポンプの更新は考えていない。今後大きな故障をした場合は教育委員会ですらに検討する。」とある。

**金澤市長** 近年は利用者数の減少や設備の老朽化等から維持管理費が増加し、これまで多額の経費を費やしてきた。しかしながら、みずほ温泉千年の湯は多くの市民に親

しまれている施設である。地域住民の交流を促進し、市の活性化に寄与し、市民の健康、福祉の増進及びその振興を図るための施設として最大限存続に向け努力をしていきたい。

**平野議員** この温泉はいずれ枯渇する温泉のようだが、ぜひ枯渇するまで存続をお願いしたい。

**金澤市長** 指定管理等を含め、色々な可能性を模索していく。この場で温泉が枯渇するまで存続するとは明言できない。



千年の湯 (瑞穂町)

他の質問

- ・ 国民健康保険は
- ・ 鳥獣被害は
- ・ 市営住宅は

# 学校施設の事故対応は



まちだ まこと 町田 誠 議員

**学校施設の管理状況は**

**町田議員** 千々石中学校体育館は平成19年頃から雨漏りがあり体育の授業や部活動に支障が出ていたと思う。風雨がひどい時、軒先部から内部に吹き込む状況で最終的にフロアーに落ち、水たまりができる状況である。今回発生した中学校体育館で同校男子生徒がフロアーの水たまりに足を滑らせ鉄格子に激突し大けがをした。男子生徒は最寄りの救急病院に搬送され入院し、幸いにして今は退院している。打ち所が違って後遺症あるいは打撲骨折を負う事故なら大変なこと。今回の事故を教訓に今後の対策は。

**金澤市長**

まず千々石中学

校体育館の生徒の事故については、町田議員の質問通告を受けてから把握した。けがをされた生徒さんと保護者の方には誠に申し訳なく思っている。

**山野教育長** この事故を受けて早々に校長研修会及び教頭研修会を開催して、これまでに学校では安全計画が形式的なものになっていないか、学校安全の校内体制を再確認して整備するように指示した。



床の状況 (水溜りが数箇所できている)

## 地方創生の総合戦略は



なかむら こうじ  
中村 好治 議員

### 地方創生（総合戦略）の骨格は

**中村議員** 環境政策を地方創生の総合戦略にどの様に取組み予算化するのか。

**広瀬市民生活部長** 平成24年度の環境都市宣言、平成26年度は雲仙市環境基本計画を策定し、総合的な施策を実行しようとしている。

**中村議員** 観光政策についてはどう考えているのか。また、仁田峠循環道路については、市道であるのに通行制限が厳しくなっているのはおかしくないか。

**松尾産業振興部長** 観光政策では総合計画の目標達成に向け、地域資源の磨き上げを

行い、多くの観光客に来ていただくように努力する。

**野口建設整備部長** 平成21年度から市道として管理して通行規制を行っている。まずは、今進めている防護柵と路肩の整備を終わらせ、仁田峠循環線利用適正化協議会の中で警察・国土交通省・環境省等と協議、研究を進めたい。

**中村議員** 定住促進については定住促進パンフレットに書かれている項目でいいのか。家賃が低額の住宅を建設することで児童生徒の増は考えられないのか。

**大塚政策課長** 総合戦略、総合計画を踏まえどの様な対策が効果的か、他の自治体の事業の検証を行いながら研究していきたい。

**酒井副市長** 住宅建設の計画は具体的にいえないが、総合戦略の中で十分協議検討しなければならぬ項目であるので参考にしたい。

## 入札制度変更の内容は



まつお ふみあき  
松尾 文昭 議員

### 制度内容の変更は

**松尾議員** 制度内容については毎年度変更になり、よい取り組みもあった。しかし、今回の市内営業所（本社を除く）に係る入札参加条件について、市内本社を基本としながらも一定の制限のもとで入札参加条件を試行すると定められているが、市内本社の実情を捉えた上でのことか。

**金澤市長** 雇用の確保、拡大に寄与できる入札制度とする考えであり、競争性の観点からは、入札参加者が固定化したり、参加業者が確保されない場合は好ましくないなど総合的に考慮し方針を定めた。

### 愛野展望台付近交差点の歩道設置は

**松尾議員** 展望台付近には住宅が増加し、子どもたちも多い。国道57号線付近は店舗もでき、子どもたちの安全のために横断歩道の設置は考えられないか。

**広瀬市民生活部長** その地域についての危険性は十分認識をして横断歩道の必要性も感じている。警察、公安委員会ですべてつけてもらうように要望したい。



愛野展望台付近交差点

### 他の質問

- ・入札における業者の選定は
- ・人口減少対策は

# 組織機構再編の考えは



さかもと ひろき  
坂本 弘樹 議員

## 将来の組織・機構再編は

**坂本議員**

将来の組織の方向性をどう考えるか。計画では、5部5局2課6総合支所を7部5局1課(6総合支所)に再編となっているが。

**金澤市長**

整備中の増築庁舎の活用を考慮しつつ、市民の利便性、事務処理の効率化、指揮命令系統の明確化や、部局間及び部局内の連携の強化等を目指す。本庁では、政策の企画立案機能、予算配分、国・県等との調整など、全体の総合調整や意志決定を行う。総合支所では、現行どおり各種証明書等の発行や簡易なハード事業の対応など役割を持たせ、専門知識が必要

な業務は、原則本庁に集約しつつも、基本的な機能は現状維持とする。

**畑中総務部長**

総合支所を

統括し本庁との意思統一を図り、責任の所在を明確にするには指揮命令系統の明確化が必要との判断から、地域振興部を創設してその役割を担わせることで、市民サービス全体の統一性、公平性を確保する。

## 捨て犬・捨て猫対策を

**坂本議員**

捨て犬・捨て猫を防止するための条例制定は。

**広瀬市民生活部長**

条例化

は厳しいと考える。動物の愛護及び管理に関する法律を運用していく。



# どうなる愛野小浜道路



さかい きょうじ  
酒井 恭二 議員

## 愛野・小浜間の道路整備の見通しは

**酒井議員**

愛野・小浜バイパス建設整備の現状認識は。

**金澤市長**

精神的に要望活動は行っているが、具体的に進展がなく、依然厳しいものと感じている。

**酒井議員**

その厳しい現状の原因は何か。

**野口建設整備部長**

国、県の考え方として、現状においては、新規路線事業化は大変厳しい状況という事である。

**酒井議員**

市から国へ要望の際の県の関わり方は。

**金澤市長**

国土交通省が、新規路線としての愛野・小浜バイパスは無理だが、交通安全対策、防災・減災で現道の改良であれば前向きに検討できるといふ事なので、今後は

県の主導で、国と県と島原半島3市で勉強会をし、要望内容をとりまとめ県と共に要望していく。

**酒井議員**

今後、市として

愛野・小浜間の道路整備要望はバイパス建設、4車線化等のどの方法による整備を要望していくのか。

**野口部長**

4車線化には現道を拡幅し4車線とする方法と、別路線で2車線作っての4車線化とする方法があることから、今後、市の要望としては4車線化に変えていきたい。

## これまでの市政運営は

**酒井議員**

これまで、経営感覚を生かした事業のスクラップやコスト削減は目につくが、市長のトップダウンの産業振興施策が少ないように思うが。

**金澤市長**

成果が見込める手立てを見つけれない。雲仙市において産業振興を図ることは、企業誘致も含めいろんな意味で難しいが、見つけられるように努力する。

## 空き家対策の取組みは



さとう よしたか  
佐藤 義隆 議員

### 空き家対策の対応は

**佐藤議員** 空き家対策の取組みについて、全国約80万戸に及び空き家対策の特別措置法が5月26日に全面施行となった。その主な内容は、市町村は治安や防災上の問題が懸念される空き家の所有者に対し、撤去や修繕を勧告、命令できると規定され、命令違反に対しては50万円以下の過料を科し、強制撤去も可能とする内容で、自治体の権限が法的に位置づけされたが、市としてはどのような対策を行なうのか。

**金澤市長** 空き家等対策の推進に関する特別措置法が昨年11月に公布され、先月26日に施行されたガイドラインと

なる「特定空き家等に対する措置」に関する適切な実施を図るために必要な指針が示された。  
市としても、本法律の制定及び施行を踏まえ、条例制定の必要性も含めて精査し、適正な措置がとれるよう対応する。

### 体育施設の維持管理は

**佐藤議員** 先の3月議会の一般質問で同僚議員が質問されていたが、社会体育施設の維持管理、備品の更新についてのどのように対処するのか。

**山本教育次長** 社会体育施設の不備箇所や備品等の不都合への対応については、平成27年度の当初予算に、これまでに市民からの要望に対応できなかった施設の改修や備品を更新するための予算を計上しており、対応したい。

### 他の質問

- ・ 千々石川の整備は
- ・ 夜間照明の管理は

## 平和な国をこれからも



うえだ あつし  
上田 篤 議員

### 「平和安全法制」の実体は戦争法案

**上田議員** 「平和安全法制」の実体は戦争法案だ。戦後70年間日本は戦争をせずに平和だったが、この法案が通れば戦争する国になる。実際に戦死者が出れば、自衛隊へ入る人が減り、徴兵制まで出てくるのは間違いない。この問題は国会だけでなく、市議会でも、町なかでも大いに議論する必要がある。国会ではどういふ論議がされているか。

**金澤市長** 10の法律をまとめて改正しようとする「安全保障関連法案」と、新法である「国際平和支援法案」が審

議されている。  
**上田議員** それらには①戦闘地域まで行って後方支援をする、②武器を使った治安維持活動を可能にする、③集団的自衛権によりアメリカの起す戦争に参加する危険がある、という3つの重大問題があると思うがどうか。

**金澤市長** 地方自治体の長の立場からここで考えを示すことは控える。感情論に偏った報道が多いような気がするもので、もっと冷静な議論がなされるべきだ。

**上田議員** 落ち着いた議論が必要と思うが、それができないようにしているのは国の方ではないか。

世論調査では、この法案の今国会での成立に59%が反対し、賛成は30%だ。

**金澤市長** 国会で慎重かつ十分な議論がされることを期待する。

## 浄化槽補助金の増額を



もとむら やすかず  
元村 康一 議員

下水道未整備地区に対する浄化槽設置に伴う補助金の増額は

元村議員

下水道は、瑞穂、

吾妻、愛野、千々石、雲仙地区については整備されているが、国見、小浜、南串山の3地区は市財政を圧迫するので当面の間は事業を行わないという結論が出ている。この下水道特別会計には一般会計から多額の税金を繰入れており、25年度決算では7億4千4百万円となっている。事業が続く限り3地区の住民もずっとこの負担をしていかなければならない。市行政にお

いて、これほどの不公平さを感じるものはないと思う。

一方、下水道未整備地区については浄化槽設置補助金を交付し、設置者の負担軽減を支援しているが、普通型の7人槽を設置する場合、補助が4割で、個人負担が51万2千円になる。下水道の場合は受益者負担が一律に20万円だが個人浄化槽の場合は50万円以上の負担となる。その差が大きい。現在の補助基準額に市が上乗せをして個人負担の軽減をしてやるのが是非必要だと考えており、7割補助が必要だと思うが市で検討され実施していただきたい。

金澤市長

浄化槽設置費用

に負担がかかることは十分に理解しており、雲仙市浄化槽設置整備事業補助金については、前向きに検討していく。

## 危険な電柱は移動を



おだ こうめい  
小田 孝明 議員

2人の死亡事故

小田議員

平成24年11月有

明フェリー入口の横断歩道で左折車に撥ねられ死亡、今年3月20日国見総合支所付近の市道の電柱に衝突し、死亡する事故があった。昨年も質問したが対応は。

金澤市長

市交通安全計画

を策定し死者数ゼロ人、死傷者数350人以内を目標に3つの視点8つの柱を基本に対策を推進している。

小田議員

電柱や横断歩道



衝突した電柱

等の道路交通環境の整備を具体的に取り組むべきだ。

広瀬市民生活部長

重篤な

事故のあった場合は関係者による道路診断を行い改良点等を協議している。

法人の滞納した固定資産税

小田議員

法人で不納欠

損・滞納額の多いのは。

広瀬部長

1法人157

6万円欠損、12法人で2億2700万円滞納額がある。

小田議員

差し押さへ無く

1576万円を消すのは税の保全、公平性を損なうのではないか。

金澤市長

理論的にはよく

わかる。現場とよく研究する。

温泉利用条件を公平に

小田議員

みずほ温泉千年

の湯と小浜望洋荘の入浴利用規定で、特別料金で70歳と60歳、割引時間の午後6時と4時30分の違いがある。十分な検討を。

# 企業立地推進の進捗は



うらかわ やすじ  
浦川 康二 議員

## 企業誘致の状況は

**浦川議員** 企業立地推進方針に基づく、企業誘致及び目標到達の現況は。

**金澤市長** 東京・大阪・福岡等において企業を訪問し、雲仙市の魅力や農林水産物の特産品などを説明し、工場等の立地をお願いしている。

**松尾産業振興部長** 平成25年度から5カ年間で企業立地件数5件、新規雇用者数100人の目標に対し、現在2件の立地と61人の新規雇用を達成している。

## 工業団地の整備状況は

**浦川議員** 既存の候補地である瑞穂農工法指定地域、愛

野野井原地域及び千々石農工法指定地域の整備状況は。

**松尾部長** 現在造成工事等は行っていない。

**酒井副市長** 旧町からの候補地があるが、実際可能性があるか整理をしたい。

**浦川議員** 埋立地の活用検討では、多比良港埋立地は県と協議中で来年度から活用可能と説明を受けている。町下地区埋立地は竣工認可も受けていない中で、平成30年3月まで土砂仮置場として使用を許可されているが、市としては埋立地を早期に完成させ、竣工認可及び土地の登記をし、早期に活用することが目標である。土砂仮置場として使用は矛盾していないか。

**金澤市長** 議員の指摘のとおりである。



町下地区埋立地（吾妻町）

# 全国市議会議長会表彰



写真左より、大久保信一議員、大久保正美議長、小畑吉時議員、森山繁一議員

平成27年6月17日に東京で開催された全国市議会議長会第91回定期総会において、長年にわたり地方自治の発展と振興に貢献した功績により4名が表彰を受け、定例会の閉会日に議場において、表彰状の伝達が行われました。

- 大久保正美 議長（議員15年以上）
- 小畑 吉時 議員（議員15年以上）
- 森山 繁一 議員（議員10年以上）
- 大久保信一 議員（議員10年以上）

※勤続年数については、町議会議員の年数を2分の1加算しています。

# 議会のうごき



## 4月22日(水)～24日(金) 議会運営委員会行政調査

より良い議会運営を目指すため、定例会の運営や議会改革等について、佐賀県唐津市議会と山口県山陽小野田市議会とで行政調査を行いました。

市民に分かりやすい議会運営に努めるため、様々な研究を行ってまいります。

## 5月10日(日)～13日(水) 大韓民国求礼郡等訪問

大久保議長以下15名の訪問団は、姉妹都市の求礼郡議会からの招請を受け、求礼郡を訪問するとともに、対馬釜山事務所や長崎県ソウル事務所等を視察しました。

求礼郡との交流も8年となりますが、今後の更なる発展を期待いたします。



## 5月27日(水) 雲仙市防災会議・国民保護協議会

防災会議並びに国民保護協議会が愛野町公民館で開催され、大久保議長、平野総務常任委員長が出席しました。

異常気象や非常事態等に対応するため、雲仙市として常日頃から備える必要性を痛感いたしました。



## 6月4日(木) 第90回九州市議会議長会定期総会

長崎市において、九州市議会議長会定期総会が開催され、大久保議長が出席し「都市財政の充実強化について」説明を行いました。

同じような悩みを抱える自治体が連携を図りながら、国に対して要望活動を行うことは、大変重要なことでもあります。



# 平成26年度 政務活動費収支報告集計結果

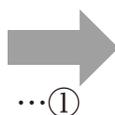
## ◆ 政務活動費とは？

議員の政務活動に必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるものです。  
雲仙市では、一人当たり月額15,000円〔年額180,000円（半期90,000円）〕が交付されます。

○ 補助金交付額：15,000円×12月×20名=3,600,000円

※1名は申請なし

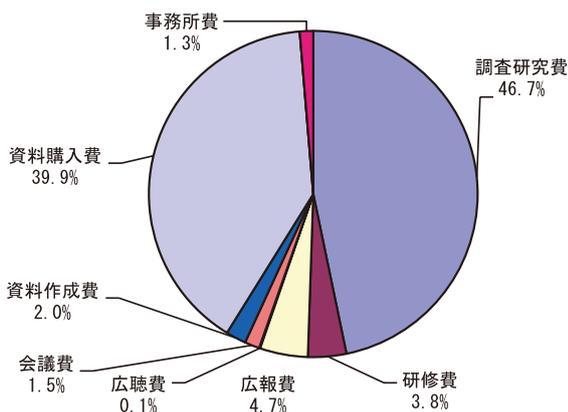
内訳	金額
補助金交付額	3,600,000円
補助金返還額	542,876円
補助金実績額	3,057,124円



【返還額内訳】返還者9名		
5万円未満	5名	計136,927円
5万円以上	4名	計405,949円

## ○ 収支報告集計結果

科目	金額	主な支出項目
調査研究費	1,570,020	旅費、携帯電話代、固定電話代、インターネット利用料
研修費	126,516	旅費、研修会参加経費
広報費	158,481	報告会時経費、活動報告書印刷・新聞折込料
広聴費	3,400	旅費
要請・陳情活動費	0	
会議費	49,000	旅費、会議参加時経費
資料作成費	66,909	消耗品費
資料購入費	1,339,186	新聞購読料、書籍購入費
人件費	0	
事務所費	44,156	FAX購入費、インク代
合計	3,357,668	…②



### 【注意】

補助実績額①（3,057,124円）と収支報告集計結果の合計額②（3,357,668円）が同額とまらないのは、議員一人当たりの補助金上限額は18万円となっておりますが、議員によっては、支出額が上限額を上回ることがあるためです。

# 市民の声



(内容は抜粋を掲載しています。)

○市内福祉施設に入所しておりますが、広報「うんぜん」や「議会だより」の配布がありません。何か受け取り方法はありますか。

(国見町 齊藤 壽久さん)

○土黒小学校横の土黒川に大きな木があるが、切るか抜いてほしい。

また、シルバー人材センター会員の年齢制限をなくしてもらいたい。

(国見町 酒井 良盛さん)

■上記要望等については、関係部局に連絡いたしました。

## 議会用語解説

### 委員長報告

委員会での審査又は調査を終えた事件が、本会議の議題となったとき、委員長から審査の経過と結果につき口頭で報告することをいう。

他方文書による委員会からの報告は、委員会の結果のみであり、審査又は調査の経過についてはまれには文書であることもあるが、口頭であるのが通例である。

形式については、一定のスタイルはないが、簡潔かつ要領よくすべきである。

(地方議会運営事典より)

問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、52円切手をお貼りください)

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。

# 議会を傍聴してみませんか？

平成27年第3回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は  
**8月28日（金）～9月29日（火）**です

- 一般質問 9月1日（火）～4日（金）
- 議案質疑 9月7日（月）
- 委員会
  - 産業建設常任委員会 9月 8日（火）、9日（水）、10日（木）
  - 文教厚生常任委員会 9月11日（金）、14日（月）、15日（火）
  - 総務常任委員会 9月16日（水）、17日（木）、18日（金）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。  
 ※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

## 編集後記

例年になく降雨量の多い今年の梅雨の中、第2回定例議会が6月3日より6月26日まで開催されました。

一般質問では12名の議員が登壇し、活発な質疑がなされました。

今後の市政に活かされる事を望むものです。

さて、梅雨が終れば暑い夏の季節です。熱中症等には充分心掛けて頂きたいです。

（佐藤 義隆）



### 議会広報編集特別委員会

委員長 浦川康二

副委員長 佐藤義隆

委員 上田 篤、林田哲幸  
 中村好治、渡辺勝美

## 郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが  
 52円切手を  
 お貼り下さい

長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局  
 「議会広報編集特別委員会」 行

（議会だより43号）

フリガナ  
 ご氏名

ご住所

電話番号( )-( )-( )